

2016年度センター試験国語 解答・解説・講評

同じことをすると同じように満点を狙える、をコンセプトに実際に解くことに着眼点を置いた解説目指します。

これから使う解き方は私が書きました内容を参照してもらえるとわかりやすいと思います。

国語の論理的な解き方

目次 <http://logicalsolution.hatenablog.com/>

解く手順 <http://logicalsolution.hatenadiary.jp/entry/2015/08/24/225411>

1：評論

土井隆義「キャラ化する/される子どもたち」

・講評

4P といった、長くはない文章と今年はなった。

内容は 2014 年の鏝の問題を思い起こすような具体例の多い問題となったのであるが、全体として取り上げられた素材がリカちゃん人形など親しみのある題材であったからか読みやすい文章となっており近年ではかなり解きやすいものだったと言えるのではないか。

設問に関しても特にこれが難しい、変だと言えるような出題もなく難化傾向に構えていた気持ちと比べると皆すんなりと解けたのではなかろうかと思う(そう願う)。

・解答・解説

まず前置きとしてこの問題では「本文に無いものは正解にならない」ということを学んでもらいたい。

問1：漢字の問題。基本的には全問正解を狙いたい。

日頃からセンター形式の問題を解くたびに選択肢の漢字全て書くことで、書けるように練習しておきたいところ。また、意味のわからない単語は常日頃から調べる癖をつけてこの機会に語彙を増やすようにしておくことより良い。

ア)繕う 1：漸増 2：全容 ○3：営繕 4：学生然 5：禪問答

イ)収束 1：反則 2：促進 3：閉塞 4：一触即発 ○5：束縛

ウ)顧みる 1：故意 2：古式 3：鼓舞 4：孤独 ○5：顧慮

エ)回避 1：大会 2：大海 ○3：転回 4：下界 5：開陳

オ)縮減 1：祝して 2：肅々 3：宿敵 4：淑女 ○5：緊縮財政

問2：ここからは解く手順を一定化し、同じ手順で正解を導けるものにする。

1. 設問文を把握。ここでは特別な指定もない、内容一致の問題である。

2. 傍線部含む1文を読む。(指示語や比喩はここで言い換える。)

・「リカちゃん」…これ自体が冒頭に例えとして出されている。

だから1段落に戻り把握を行う。無意識でもやっているかもしれないことだとは思いますが、意識的にやって欲しい。すると、「国民的アイドル。かつて憧れの生活スタイルを演ずるキャラクターで、設定された枠組みの中で子どもたちは「ごっこあそび」を楽しんだ」

・「変容した。」＝傍線部含む1文で「特定の物語を背後に背負ったキャラクター」から脱却し、「どんな物語にも転用可能なプロトタイプ」となったことと示されている。

・文頭の「これは」＝「平成のリカちゃんはその物語の枠組みから開放され別のキャラになりきる」とある。(ちなみに平成のリカちゃんの変容後であることは間違えないように。)

「その」＝1段落にあるように「リカちゃんがかつて与えられた物語」

3. とりあえず前後見てない方もチェック(今回ならば後ろ)

後の文章はリカちゃんの話ではなく、そこから違う例を上げて説明している。

このようなパターンは選択肢精査した際にまた必要になることも考えられるがとりあえずはパスする。

4. 選択肢精査。(ここでは選択肢ごとに見ているが実際の解くときには前半後半とわけて、片方でバツがつけばもう片方は読む必要はない。)

①：正解

前半…2で把握したかつてのリカちゃん

後半…「これは」で辿った先にあったものそのまま。

②：不正解

前半…2で把握したかつてのリカちゃん

後半…ごっこ遊びに用いられた結果変容したのでもなければ、世代ごとに異なるという表記はないので2箇所間違っている。

③：不正解

前半…憧れられていたから正解

後半…2で把握したように、1段落冒頭に世代を超えたアイドルといえるので平成からそうなったとはいえない。

④：不正解

前半…2で把握した通り

後半…「より身近な生活スタイルになった」が間違っている。「どんな物語にでも」なれるようになったのである。

⑤…不正解

前半…まあ、確かにリカちゃんは着せ替え人形ですね。

なお、この時点でこの選択肢はなんか話がずれてないか？と思ってもらえると嬉しいで
す。

後半…2での把握にあったように元タイメージキャラクターでした。

問3

1. 内容一致の問題。「人々」と「大きな物語」に着目する。

2. 傍線部を含む1文。

まず、このような傍線部が文の一部であるときは、必ず主語は抑えておきたい。

・主語＝キャラクターのキャラ化…キャラ化という言葉はこの文章での表現なので、比
喩。「キャラ化」＝前段落の2・3文目を抑えると良い。

・「人々」＝人。特に気をつけることはない。

・「大きな物語」が失われる…文頭の「こうしてみると」から辿って探しに行く。

「こうしてみると」という言葉は前の文章を受けて続ける言葉なので、前に戻る。

すると「このような現象」(＝キャラ化のこと)は「枠組に縛られていた時代では想像
できなかった」＝つまりこの枠組は“失われている”

「枠組」(つまりかつての話)＝リカちゃんの初期のこと

3. 後ろの段落に「大きな物語」とあるので見ていく。

・かつては「大きな物語」の中でアイデンティティを確立していた。

←表面的に取り繕うのは自己欺瞞

アイデンティティ(“とは“の定義表現)＝外面的内面的要素は併存していなく、ゆらぎ
をはらみながらも一貫したもの。

4. 選択肢精査。

・途中まで共通しているので飛ばし、その後を前後半でわかる。

・外面的内面的要素が併存していないという言葉がはっきりしているので前半から見る。
そうすると、併存しているように書いてある、④・⑤を切る。また、①もほとんど信用
出来ないものであろう。

・後半。「一貫したもの」との同表現探す。

①は臨機応変とあるので間違い。

②の矛盾のないって言葉に丸をつける。

③の内容は本文にないものであり、正解とはなりえない。

よって、**答えは2**となる。

問4

1. 理由説明。理由説明であっても、内容をつかみ理由を探すので作業に変化はない。

2. 「そのため」…まさしく理由を取り上げている言葉。前に戻っていく。

＝直前の「単純化された人物像は場面が変化しようとして臨機応変に対応できる。なぜなら特定の状況を前提条件としないからです。」をそのまま拾う。

・「生身のキャラ」（この文章での表現なので比喻）＝10 段落 2 文目に見つける。

この探すときは 11 段落冒頭が「また」なので追加的に話が進んでいるので前の段落を読む必要があると気づけると良い。

「生身のキャラも“同様”」＝ハローキティやミッフィー

＝その続きの「多面性を～」を抑える。

3. 後ろは同様の内容についての例であるが、気になるなら読んでおく程度。

もし、選択肢精査した結果必要になれば後ほど読む

(読まなくて良いところを読むのに時間を割く必要は基本的に無い。)

4. 選択肢精査。最初が共通しているので残りを前後半に分ける

・前半。

個性を強めるように書いている②・③を切る。

⑤に関しては「素朴である方が」ということは文中にはない。ここで切れるのであるが、気になるなら残しても良い。

・後半

①…価値観の話はしていない。

④…臨機応変と同表現。正解となる。

⑤…後半もまた本文中にない無関係な内容。

よって 4 が正解になる。

問 5

1. 問題の形式は珍しいがただの内容一致であることを把握したい。

焦らなければむしろ会話が対立したように話しているので無条件に切れる選択肢があり、解きやすいくらいである。「誠実さ」のキーワードは忘れないよう。

2. 直前に「その意味ではキャラ化して提示することは誠実と言えなくない」とある。

「その意味」＝「キャラは 1 つ 1 つ単純明快だが、替えが効かず 1 つも欠けてはいけない」まだ言い変えていくと、

「キャラ」＝「自己欺瞞でも騙すものでもなく、単純化されたものだがある側面を強調したものであり、個性の一部。」

ここで 14 段落冒頭「したがって」を、見て前をまだ辿っても良いが、したがっては要約表現であり戻る必要があるかは怪しいところである(今回は不要)。

3. 後ろはない

4. 選択肢精査。この選択肢は全後半にわけることなく 1 から順番に見ていく。

1: 不正解

「確固とした信念」が間違い。傍線部にあるように、価値観は多元化した相対化する。

2：正解

価値観が多様化する中で「何が正しいかがわからなくなり、振る舞いも変わる」

3：不正解

「自分を見失う」は文中にないので切って良い。

4：不正解

外キャラもある意味で誠実というのが文中の話。

5：不正解

ややこしい選択肢である。ただ、前半の内容は本文中にないものであり、最後のところで「誠実さは成り立たない」とあるが、ではこの文章はなんなのだとになってしまうので切る。

問6：表現の問題。今回はかなりわかりやすい問題で良かったというところ。

よって、i・ii共に気をつけてほしいことは1つ。

“**適当でないもの**”を選ぼう。

i) この問題も選択肢は全後半に分けずに、1つずつ抑えていくしかない。

①：内容が間違っている＝答えとなる

「演じてくれる」はどちらかというと演じる側への敬意を感じさせる表現。

②：合っている

難しい表現しているが、つまるところ引用は明示しているということ。

③：合っている

「思われます」というのは作者の考えを示す表現で、確定された事実ではないので断定表現を避けたものとなっている。

④：合っている

そうでしょう。「はらむ」＝「その中に含み持つ」ということ。

ii)

①：合っている

「なのでしょうか」という表現で疑問提起し、続きで対人関係に内容を絞っている。

②：合っている

「しかし」の出だしで内容を捉え直し、11段落は「また」の出だしで別の観点からの添加を示している。

③：間違っている＝正解

「異質な問題」ではなく、具体例で見なおしているだけである。

④：合っている

そうですね。特に書くこともなく本文に戻るとわかりますね。

2. 小説

・講評

小説は今年も長めの文章による出題の傾向が続くことになったといえる。

また、最近多い昭和を感じさせる文章であり少しイメージが湧きにくい文章であったかもしれないが、電車での長旅なので混んだ新幹線での物語くらいだと考えてもらえると良い。

文章の難易度自体は高かったわけではないが、中後半は心情を拾うのがやや難しくなり、問4・5あたりは細かく選択肢を読む力が求められたので、本文への理解だけで解こうとすると引っかかることも大いに考えられる問題であった。

小説に関してはここ2～3年よりも選択肢が難しい分、点が出せなかったということも十分に考えられる難易度であった。

・解説

問1：語句・慣用句意味選択

今回に関してはそれほど難しい言葉であったとは言えないので正解して欲しいところ。この問題において気をつけることは「本文中の流れよりも、まずは語句の意味を大事にする」ことである。

ア)正解：5 目くばせした＝「目を動かして、意思を伝えたり合図をしたりすること。」

イ)正解：3 無造作に＝「慎重にするのではなく手軽に行う様子」

ウ)正解：2 見栄＝「人の目を気にして上辺などをより良く見せようとする様子」

問2：小説でも評論と基本的にやることは変わらないので同じ方法で取り組んでいく。

1. 設問を読む。「私」の心情についての内容把握。

こういった問題ではしっかり「私」以外の心情表現に引っかからないように整理して問題に取り組む。

2. 今回は傍線部から辿るということではなく1～30行という長い範囲に取り組むことになるのが大変なところ。

闇で買えたことにはその振る舞いを含め安堵した(12行目)が、座るときには後ろめたさから照れている(18行目)。後ろめたいという気持ちは婦人と話したことで安心したことから逆説的に伺える。

安心したのは「同じように買った人がいて」、値段についても述べていることから初めての闇購入だったが「値段も法外なものではなかった」からということが伺える。

3. もちろん後ろは不必要なのでパス。

4. 選択肢精査

31行以降の内容は答えにならないことに気をつけよう。

まず選択肢を全後半に分け、座席を買った時のところまで考える。

すると、③だけ「耐え難く」とあるがそこまではないので切れる。

④・⑤も難しいところだが、切るところまで行くのは無理であろう。

後半について。

②・④共に、前の人が年配の女性であったことに安心したわけではない。

⑤は本文中にそんなことはなく、無関係。

よって**正解は1**

問3： ここから把握が難しい。

1. この問題も「私の」心情であることは抑えておく。

2. 何が残念なのか把握が難しいが丁寧に内容を見ていく。

まず文末が「言い出す」なので、何を言ったかから考える。

すると、「子供と父親が握手していました」ということを告げる。

つまり子供か父親の見送る時の様子について言いたかったことがあることがわかる。

そして直前に目をやると、父親がホームにいたことを伝えたかったとわかる。

他の感情は母親が帰ってきてないことに不安になっている程度で、把握が難しい。

3. この問題も「この時」の心情なので直後の発言以降は踏まえなくて良い。

4. 選択肢精査。消去法の大事さ

確実なものとして把握できたのが、2の内容考えると、父親のこと伝えたかったということなのでこの選択肢精査では**後半から取り組む**。

後半について。

②のことはまだである。無理解を嘆くのはこの後の部分。

③と⑤は父親ではなく、息子のことを伝えようとしているので間違い。

前半を見る。

①はここまでに苦労が思いやられるという表現はなく、まだここでは母親は帰ってきたところなのだ。

④に関しては、同情心という表現だけは明記されていないが、間違えてはいないので正解。

国語に於いて**最も適当なもの**というのは「**他が間違っていれば、まだこれが一番良い**」でも「**最も適当**」であるのだ。

問4： 範囲が広く把握もこれまたしづらい問題。

この問題では「**選択肢のどういう言葉に着目すれば選択肢精査がうまくいくのか**」ということに意識したい。

1. 「私から見た」「母親」の心情把握。

私から見たというものは、この文章が「私」視点の文章なので大きな問題ではないが、

丁寧に抑えていかないといけない。

この問題と次の問題がこの小説においての点数差を分けるものとなったと考えられる。拾わないといけない範囲も広く、設問内容も忘れないよう取り組もう。

2. マーキングした内容メインでつかむ。

まとめると「最初は夫のことを溜まっていた鬱憤を晴らすかのように愚痴を述べたが、周りのものから好意的な反応をえると語調も柔らかくなり、人の良さそうところが見えてきた。」といったところ。

汽車の中に腰を下ろしたという表現は、周りからの浮ついた注目が落ち着いたことの意味でよい。

3. ここより後ろは夫の話になるので、ここまで読むと十分である。

4. 丁寧に選択肢精査して単語を掴んでいかないと厳しい。

前半から。

①：「励まされた」が間違い。好意的な反応はあったが、励ましではない。

他の選択肢の前半は特にいうことがなく、文中のままである。

後半について。

②：「感激している」が間違い。優しさは受けたがそれに対する大きな反応はない。

③：「気苦労を受け入れる」という表現は判断に悩む表現ではあるが、発言の中で「大変だった」と過去形で話せるように、超えていると考えられる。よってこれは切れない。

他にもっとぴったりなのがないのであれば正解。

④：「ホッとしている」という描写はない。

⑤：「今は」が間違い。子供が寝る前から話し始めている。

よって正解は③。

このようにこの問題ではかなり細かい一単語にこだわって選択肢精査することになった。こういうこだわる点というものは意識すると選択肢精査の速度と精度は跳ね上がることになるだろう。

問5： 本文全体も踏まえる問題。

1. 本文全体をも踏まえることと、「私が」どう考えているかという視点はわすれないようにしたい内容把握の問題。

2. 本文全体確認しないとイケないのだが、まず直前の内容はどこから読むか。

男の子が起きてからで良い。

こちらでもマーキングで把握はしていくと良いが、改めて抑えておきたい言葉を見ておこう。

「母親がいることに安心するが、家での空気を読み取っているのか気兼ねしておとなしい」という言葉がある。本当かどうかはわからないが主人公の捉え方であり、この問題では十分である。

「母親が声をかけるとニヤッとした」という表現からも母親という存在への安心感、寂しさがあるのかと考えられる。

「父ちゃん来い」と言っている場面はあくまではぼ無意識であり、この男の子の興味はあくまで外の風景にあったのである。しかし無意識でいっているほどと考えることも出来る。

3. 他見るところ…本文全体について。

男の子と父親で接点があったのは、電車の発車前の場面である。

そこで男の子は父親と別れたくないかのような行動をしていることは抑えておきたい。後、結果として選択肢で父親の性格なども触れられているので、「癩性な男」であることなど抑えられていると良い。

4. 選択肢精査。

1文と2文に分けると良い。

まず1文目。

①は「車内の騒がしさに圧倒されて」が間違い。静かにしていたのは、「家での空気を読み取って」いたからである。

②の「うまく言葉にできないでいる」ですが、文章全体で見ていくと両親からの問いかけに頷くだけであったり、無言であったりと饒舌ではないことから、間違いとは言いきれない。

③の「車外の風景でその悲しみを慰めている」は書いていない。気になるならまだこの段階では残しても良い。

④の「やるせない思い」は表現されていなく、言い過ぎである。

⑤の「父親だけ信頼している」という表現は本文中になく、むしろ母親への信頼感も感じられるので間違い。

2・3文目。

③の「家族の悲哀」は感じていることは文中から伺えない。

よって正解は2である。

文章全体を用いる問題というのは難しいが、大抵それまでの間で確認している内容なので落ちついて取り組んでいこう。

問6 「**適当でないもの**」なので間違えてなく、怪しいだけの選択肢を即断で答えに選ぶことはやめておくほうが良い。

場所は指定されているので一つ一つ丁寧に見ていく。

①：後半の内容。「全体が」とあるのに、この文章から一体感が失われたということは読み取れない。よって明らかに間違っている。

②：「読者に推測させる効果がある」に関してはわからない。親子はもう闇で買えなかっただけかもしれない。間違っていないのでここを選びかけてしまう気持ちはわかり

ますが、最後まで見た後にまた考えるべき。

③：そうでしょう。

④：問4でも把握したあたりのことである。話して好意的な反応を得るうちに落ちついてきたのである。よってこれは明らかに間違い。

⑤：119行目からの段落で見たらわかる。

⑥：その通り。

よって、**1と4**が答え。

以上が現代文の解説となります。

古文・漢文につきましてもよろしくお願ひします。

国語の論理的な解き方

目次 <http://logicalsolution.hatenablog.com/>

2,016年センター国語解説

<http://logicalsolution.hatenadiary.jp/entry/2016/01/22/2%2C016%E5%B9%B4%E3%82%BB%E3%83%B3%E3%82%BF%E3%83%BC%E8%A9%A6%E9%A8%93%28%E6%9C%AC%E8%A9%A6%E9%A8%93%29%E8%A7%A3%E7%AD%94%E3%83%BB%E8%A7%A3%E8%AA%AC%E3%83%BB%E8%AC%9B%E8%A9%95>

質問などありましたら以下へよろしくお願ひします。

Twitter→https://twitter.com/kokugo_kantan

メール→ohitashi24@gmail.com